

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 5 月 26 日 (2016.5.26)

【公開番号】特開 2015-11287 (P2015-11287A)

【公開日】平成 27 年 1 月 19 日 (2015.1.19)

【年通号数】公開・登録公報 2015-004

【出願番号】特願 2013-138420 (P2013-138420)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/08 1 1 2

G 0 3 G 15/08 5 0 7 E

G 0 3 G 21/00 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 4 月 5 日 (2016.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

請求項 5 の発明は、前記搬送路に設けられ、回転軸部の回転により該回転軸部の外周に設けられたはね部材で前記混合体を前記回転軸部の軸方向の一方へ搬送する搬送部材を有し、前記回転軸部は、前記側壁を間において前記搬送部に対向する部分で、外周の少なくとも一部が拡大されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 粉体と第 2 粉体との混合体を搬送する搬送路と、

前記搬送路内の前記混合体が増加すると該混合体が前記搬送路から移動され、該混合体を前記搬送路へ搬送する搬送部と、

前記搬送路から前記搬送部への前記混合体の移動を検知する検知部と、

前記検知部によって前記混合体の移動が検知されない場合は、前記第 1 粉体を前記搬送路に供給し、前記検知部によって前記混合体の移動が検知された場合には、前記第 1 粉体の前記搬送路への供給を停止する供給部と、

を備える粉体搬送装置。

【請求項 2】

前記搬送路は、

前記混合体を一方へ搬送し、前記第 1 粉体が被供給部材に供給される供給路と、
前記混合体を他方へ搬送し、搬送方向上流端部及び下流端部の各々が前記供給路の搬送方向下流端部及び上流端部に接続され、前記第 1 粉体が前記被供給部材に供給されない非供給路と、

を有し、

前記搬送部には、前記非供給路から前記混合体が移動される請求項 1 に記載の粉体搬送装置。

【請求項 3】

前記供給部は、前記非供給路の搬送方向上流側で前記非供給路に前記第 1 粉体を供給し、

前記搬送部には、前記非供給路の搬送方向下流側から前記混合体が移動される請求項 2 に記載の粉体搬送装置。

【請求項 4】

前記搬送部には、前記搬送路の側壁から前記混合体が溢れることにより、該混合体が移動される請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の粉体搬送装置。

【請求項 5】

前記搬送路に設けられ、回転軸部の回転により該回転軸部の外周に設けられたはね部材で前記混合体を前記回転軸部の軸方向の一方へ搬送する搬送部材を有し、

前記回転軸部は、前記側壁を間において前記搬送部に対向する部分で、外周の少なくとも一部が拡大されている請求項 4 に記載の粉体搬送装置。

【請求項 6】

前記搬送部は、前記混合体を磁力によって吸い上げ、該を前記搬送路へ落下させる磁性部材を有している請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の粉体搬送装置。

【請求項 7】

前記第 1 粉体としてのトナーと、前記第 2 粉体としてのキャリアと、の前記混合体としての現像剤によって、潜像を現像する、

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の粉体搬送装置としての現像装置。

【請求項 8】

前記潜像を有する像保持体と、

前記像保持体の潜像を現像する請求項 7 に記載の現像装置と、

を備える画像形成装置。